

「言葉遣い・コミュニケーションの在り方」についての論点

論点1：「言葉遣いについての指針」の作成について

- 以下の(ア)、(イ)を検討した上で、今後の課題とするか否かを判断する
 - (ア) 社会的な要請があるか否か
 - (イ) 作成するとした場合、どのような内容のものが考えられるのか
 - 「敬語の指針」との関係
 - 「言葉シリーズ」との関係

論点2：「緊急時における言葉遣いの指針」について

- 以下の(ア)、(イ)を検討した上で、今後の課題とするか否かを判断する
 - (ア) 社会的な要請があるか否か
 - 国語分科会で検討すべき課題であるのか
 - (イ) 作成するとした場合、どのような内容のものが考えられるのか
 - 「情報の分かりやすい伝え方の基盤となる言葉遣い」との関係(前期の「意見のまとめ」)

論点3：「メールにおける言葉遣いの指針」について

- 以下の(ア)、(イ)を検討した上で、今後の課題とするか否かを判断する
 - (ア) 社会的な要請があるか否か
 - 国語分科会で検討すべき課題であるのか
 - (イ) 作成するとした場合、どのような内容のものが考えられるのか
 - 「分かりやすいメールの言葉遣いの在り方」との関係(前期の「意見のまとめ」)

論点4：「情報化・国際化とコミュニケーションの在り方」について

- 情報機器との関係を踏まえた指針の作成
 - 以下の(ア)、(イ)を検討した上で、今後の課題とするか否かを判断する
 - (ア) 社会的な要請があるか否か
 - (イ) 作成するとした場合、どのような内容のものが考えられるのか
 - 「対面コミュニケーション」との関係(前期の「意見のまとめ」)
- 国際化との関係を踏まえた指針の作成
 - 以下の(ア)、(イ)を検討した上で、今後の課題とするか否かを判断する
 - (ア) 社会的な要請があるか否か
 - (イ) 作成するとした場合、どのような内容のものが考えられるのか
 - 外国人に分かりやすい日本語、日本語教育小委員会との関係(前期の「意見のまとめ」)

論点5：「コミュニケーション能力の育成に関する指針」について

- 以下の(ア)、(イ)を検討した上で、今後の課題とするか否かを判断する
 - (ア) 社会的な要請があるか否か
 - (イ) 作成するとした場合、どのような内容のものが考えられるのか
 - 「人間関係形成能力としてのコミュニケーション能力」と「論理的に伝え合うことのできるコミュニケーション能力」との関係
 - コミュニケーション能力をどのような能力と捉えるのか
 - 現在の社会で求められているコミュニケーション能力の中身(以上、前期の「意見のまとめ」)